

# 後援会会報



Vol.9 第六期 2014.7

## <ごあいさつ>

最近、豊津小学校の4年生と「昔の豊津」について学習する機会がありました。「里山のみなさん、元気ですか！」と語りかけると「おう！」と応えてくれました。里山祭で太鼓を叩いた子だなあと嬉しくなりました。日常接していないので笑顔の交流には、今一歩でした。

交流といえば、この頃自分は「浦島太郎」になってしまったのではと思います。「月日の経つのも夢のうち」の人生を送り、「誰も知らない人ばかり」になっています。こんな思いの中で、最近関係したボランティアで「津の古い街並展」と「藤堂高虎と津城展」が心に残りました。「古い津の街並展」では来客者の方が詳しく「ふん、ふん。」と聞けば、「藤堂高虎と津城展」は何しろ400年も昔のお話です。話す方も聞く方も「本当？」の世界です。しかし、交流の会話は笑顔で、とても楽しかったです。これで、浦島太郎の弟の浦島時朗になれたのではと思っています。  
会長 森下眞治

この度、会計監査をさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願い致します。会報 Vol.3 にて、退職のご挨拶をしてから早4年、現在も時々お手伝いをしてますが、ユニット制になり、子どもたちの生活空間も広くなりました。幼かった子どもが大きくなり、次々と卒院していきます。時の経つのは、ほんとうに早いものだと思います。学院とご縁が深かったことに幸せを感じているこの頃です。  
新光子

発足から、5年が経とうとしています。この頃は、里山学院の活動にご協力、ご支援していただきありがとうございます。卒院生が、成人式出席の日に、施設に顔を出してくれたと聞き、忙しい中、ちょっとでも寄って行こうと思ってくれた気持ちを考えると微笑ましくなります。これも、職員の方々が、子どもと生活を共にし、色々なことに泣き笑い、時には怒り悩み、真剣に向き合って過ごしてきたからだだと思います。これからも皆様に支えられながら、子どもたちがのびのび生活できる場であってほしいと願っています。  
鍵山和美

## ☆心に残したいことば☆

少し前に体調を崩していた。寝込むほどではなかったが食欲もなく、病院も連休であった。そんな時に記を読む機会があった。今回はその中から正岡子規（誰でも知っている歌人。病弱で三十五歳夭折した。）

「病気の境遇に処しては、病気を楽しむという事にならなければ生きて居ても何の面白味もない。病気だからといってふさぎ込んではいけぬ。病気を病気として受けとめ、立ち向かう気持ちが必要で、そうでなければ治るものも治らない」

寺田寅彦（「天災は忘れたころにやってくる」との言葉を物理学資学者であり、随筆家でもあった。前記の子規の「ホトギス」の同人）

「健康な人には病気になる心配があるが、病人には回復するという楽しみがある。」寅彦も子規と同じように病弱だったからこそその言葉でしょう。病気を深刻に受けとめずにむしろ楽天的な心が感じられるが、それ以上に心の強さを感じます。

レオナルド・ダ・ヴィンチ（ご存じの希代の天才）  
「食欲なくして食べることが健康に害あるごとく、欲望を伴わぬ勉強は記憶をそこない、記憶したことを保存しない。」

人間には色んな欲が全く無いことは不可能だ。仏教で言われる「少欲知足」であろうか。健全な（とても抽象的でも申し訳ないが）欲の元での日々の暮らしが大事である。  
ぐり

## おいしいコーヒーを心の癒しに

最近の学院はずいぶん大きくきれいにない生活環境はすばらしくなっていると思います。ところが先生たちの精神的な負担がとて大きくなっているようです。そこで数年前からそちらでコーヒーを淹れるようにしています。一応コーヒーマイスターの資格を持っているので張り切って淹れています。心の癒しというのは簡単なようで難しいところがあるので、明確な目標は立てずにのんびり構えることにしています。職員の皆様、暇を見つけてコーヒーを飲みに来て下さい。  
浜中健二

いつも温かく見守って下さってありがとうございます♪

院長先生を始め、職員の方々にお世話になって、子どもたちも元気に学校に通っています。また、箕田の友達もたくさんで、楽しいことがいっぱいあったと思います。反対に苦しいことやつらいこともあったかもしれませんが、よくがんばっているなあと思います。もっともっとたくさんの友だちを作って、勉強やスポーツもいっぱいして、しっかりとした気持ちで生活してほしいと思っています。

そのために必要なことをいつも子ども達には指導しています。特に、あいさつについては、繰り返し指導しています。あいさつをすることは、社会生活を送る上での基本的なマナーとして、とても大切です。顔を合わせたときに「おはよう」「こんにちは」、お世話になったときや助けてもらったときには「ありがとう」、迷惑をかけたたりしたときには「ごめんなさい」といったあいさつや返事が、人とのより良い関係をつくっていきます。社会で暮らしていくうえで必要なコミュニケーションの第一歩です。

しっかりと「あいさつ」をして、周囲の方々や友だちとのより良い関係をつくって気持ちのよい生活にしていってほしいと思います。  
鈴鹿市立箕田小学校長 杉野 公夫

『鈴鹿里山祭』でのポップコーンやフランクフルト。とびきりおいしかったよ。「輪投げ」は見事に外れましたが、とても楽しかったよ。4月には皆さん、それぞれ進級、進学されます。新しい気持ちで、さらに勉強や運動にがんばりましょう。  
学習ボランティア 岡井啓太

## 頑張っている卒院生からメッセージをもらいました！！

2年に1度行われる名古屋でのモーターショー、未来の車や最新市販車が見られるイベントです。里山の子ども達にも写真ではない実物を見て感じてもらいたいと思い、今回数名ではありますが招待することが出来ました。当日の会場は大勢の人で、自由に歩き回るのも大変でしたが、子ども達は楽しんでくれたようです。

私の子どもの頃からの夢は、自動車を作ることでした。今その夢を叶え、自動車のラインで車を作っています。里山の子ども達にも、それぞれの夢を持ち、それに向かい頑張ってもらえる様に、これからもサポートを続けていきたいと思えます。  
卒院生 西村 鷹也

里山学院ではたくさんのおもいでがあります。たくさん怒られたこともあり、つらかったり悩んだ時も、先生に支えられ、乗り越えることができました。卒院して夢に向かって頑張っているのも里山学院で過ごした日々があったからです。里山学院にいてよかったと思います。また、卒院しても私の夢を応援してくれている先生がいると思って頑張っています。里山学院にいる子ども達には常に自分のことを考えていてくれる先生がいることを忘れずに過ごして欲しいです。  
卒院生 森 舞

## ～後援会より～

学院の運営財源は、国や県からの措置費、寄付金、施設資金などで賄っていますが、子どもたちの教育活動や建物・設備品の維持管理などの財源確保に毎年苦慮しているのが現状です。

学院近隣の方々やボランティアの方々の有志により「里山学院後援会」が平成21年3月に発足いたしました。

子どもたちに対する物心両面からの支援と学院のさらなる向上を目指し、努力していただいております。

社会福祉法人 里山学院では、子どもたちに物心両面での援助をしてくださる方を募集しております。

### ・里山学院後援会ご加入方法

会費は、年額 1口 個人 2,000円 企業・団体 5,000円 郵便振替口座にお振込みいただけますようお願い致します。  
口座番号 00890-1-206505 口座名義 里山学院後援会

・寄付金振込先：郵便振替口座 00810-4-174289 口座名義 社会福祉法人 里山学院

・後援会問合せ：社会福祉法人 里山学院内 渡部・五十子

### 里山学院後援会様より、軽自動車1台を寄贈頂きました。



ありがとうございます。大切に使用させて頂いております。

いつも後援会の活動にご理解、ご協力頂き誠にありがとうございます。今後ともかわらぬご支援、ご鞭撻の程、宜しくお願いします。

# 鈴鹿里山学院



新しい土地で生活をスタートして2年近くなりました。後援会の皆様や地域の支援のお陰で、子ども達は楽しい学院生活を送れています。感謝！感謝です。  
鈴鹿里山学院 施設長 榎本 英典

## ぼくたち・おたしたちの将来の夢

夢の職業:

- パティシエ♡ (中3女)
- ういげと (6才男)
- パイロット (小4女)
- テレビもママとみたし。あとママとしゃしんをとりたい。 (小1女)
- スカイダイビング (小6男)
- サッカーの選手 (高1男)
- モデル (小2女)
- 美容師 (高2女)
- キーヤサリ (小4女)
- ゲームをいっぱいする。 (小1男)
- お母さんみたいなつかいになりたい。 (小2女)
- 大学進学 (中2男)
- マッシュモンスタ (高3女)
- パティシエになりたい。 (小5女)
- スライム作りが大好き (中3女)

### 鈴鹿の地域でお世話になっている方々

鈴鹿里山学院が開設されました平成24年春に、私も箕田地区市民センター・公民館に赴任してまいりました。昨年の里山祭では、とても楽しい時間をすごさせていただき、子どもたちの明るく元気な姿にパワーをいただきました。これからも地域の皆さんとの交流を深め、地域に根ざした学院であっていただくとともに、地域の皆さんも「みだっ子」として学院の子どもたちの成長を温かく見守っていただければと思っております。箕田地区市民センター・公民館が少しでもそのお役に立てればと思っております。  
箕田地区市民センター 杉本 正樹

鈴鹿里山学院が当地に開設されて、満2歳になれようとしています。まだ2年しか経ってないの！！という感じを受けるのは、「早くこの地域に溶け込もう」と、里山の皆さんが一体となって努力されている証だと思います。当地域の色々な行事に積極的に参加され、交流を深められている事が最大の要因である事は言うまでもありません。また、子ども達の元気な言動が、この地域の住民に元気と明るさと勇気を与えています。これからも共存共栄という理念を、基本的なスタンスとして、お互いに努力し合っていきましょう。  
上箕田自治会長 杉本主税

# 里山学院 河芸



後援会の立ち上げに当たり、多くの方の意見を伺い、先ず周囲の方々に施設を知って頂く大切さを知った。まだまだですが、これからも宜しくお願いします。  
里山学院 施設長 鍵山雅夫

## わたしたち・ぼくたちの将来の夢

夢の職業:

- しょうぼうしか (小1男子)
- けいささん (4才女)
- 料理人 (小6男)
- 芸能人 (小6男)
- 保育士 (中2女)
- 保育士 (小6女)
- パティシエ (小4女)
- 大工さん (小4男)
- サッカー選手 (高1男)
- いしかの飼育員 (高1男)

## 子どもの日常

日常の活動:

- 園庭での遊び
- 運動会
- お祭り
- 読書
- 絵画制作
- お散歩